

子宮頸がん検診啓発活動報告

熊本市民病院 検査技術室 河野公成

子宮頸がんを考える市民の会主催による「子宮の日」キャンペーンが全国 38 都道府県で開催され、熊本県細胞検査士会は(社)熊本県臨床検査技師会と共催で 4 月 14 日(日)午後、ゆめタウン光の森で検診啓発活動を行いました。今年は前日に県民交流館パレアで開催された第 2 回がん撲滅教育セミナーで資料を 200 部配布し、残り 800 部を当日配布しました。セミナーでの熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学分野教授 片瀨秀隆先生の熱い講演のおかげで、今年も新たな気持ちで啓発活動に望むことが出来ました。今回はパネル展示コーナーを開設し、啓発 DVD、「くまモンのぬいぐるみ」(日本がん予防協会提供)も動員し無事に全部配布することが出来ました。

子宮頸がんが若い女性に急増し、20 代～30 代の女性の癌で第 1 位となっているが、その認知度が非常に低く、検診率も先進国中日本は最低ライン(30%程度)です。晩婚化も進む中、子供を生む前がんになり子宮を失ってしまうという悲しい事態を招かないよう、若い女性に事の重大さを理解させることは我々医療人の義務と思います。

啓発活動に参加していただいた皆様および配布資料の袋詰めをお願いした熊本県総合保健センターの皆様感謝いたします。



河野公成、島本浩二、田邊智子、志賀有紗、内田衣里子（熊本市民病院）、中島浩二、北田沙優理、平山史絵（熊本県総合保健センター）、杉谷由幾、檜本泰志（日赤健康管理センター）、坂本康弘、大塚幸二（熊本赤十字病院）、島田寛子（熊本市医師会検査センター）、近藤妙子（済生会熊本病院）、亀山広喜（熊本保健科学大学） 敬称略